

平成26年10月23日

四国地方整備局

土佐国道事務所

開通後初！ 「緊急避難施設」を使用した避難訓練を 実施します

～津波発生時に備えて～

高知東部自動車道(香南のいちIC～香南かがみIC間)に整備された緊急避難施設(土居地区)を利用し、土居地区自主防災組織が平成26年3月9日の開通後初めてとなる**避難訓練**を実施します。

■避難訓練

◆日時：平成26年10月26日(日)9時～10時(緊急避難施設を使用)

※訓練全体は8時55分～11時30分まで。

◆場所：香南市野市町土居1064-17地先(土居地区の緊急避難施設)

◆参加者：香南市野市町 土居地区の住民の方々

※詳細は別紙1, 2を参照願います。

※報道関係の方の取材、撮影は自由に行っていただけます。

※悪天候の場合は避難訓練を中止する場合があります。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

お問い合わせ先 (○主な問い合わせ先)

国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所 電話 088-884-0359(代表)

副所長

宮武 敏男 (内線205)

○管理第一課長

片岡 正彦 (内線431)

香南市 防災対策課長

野島 浩一

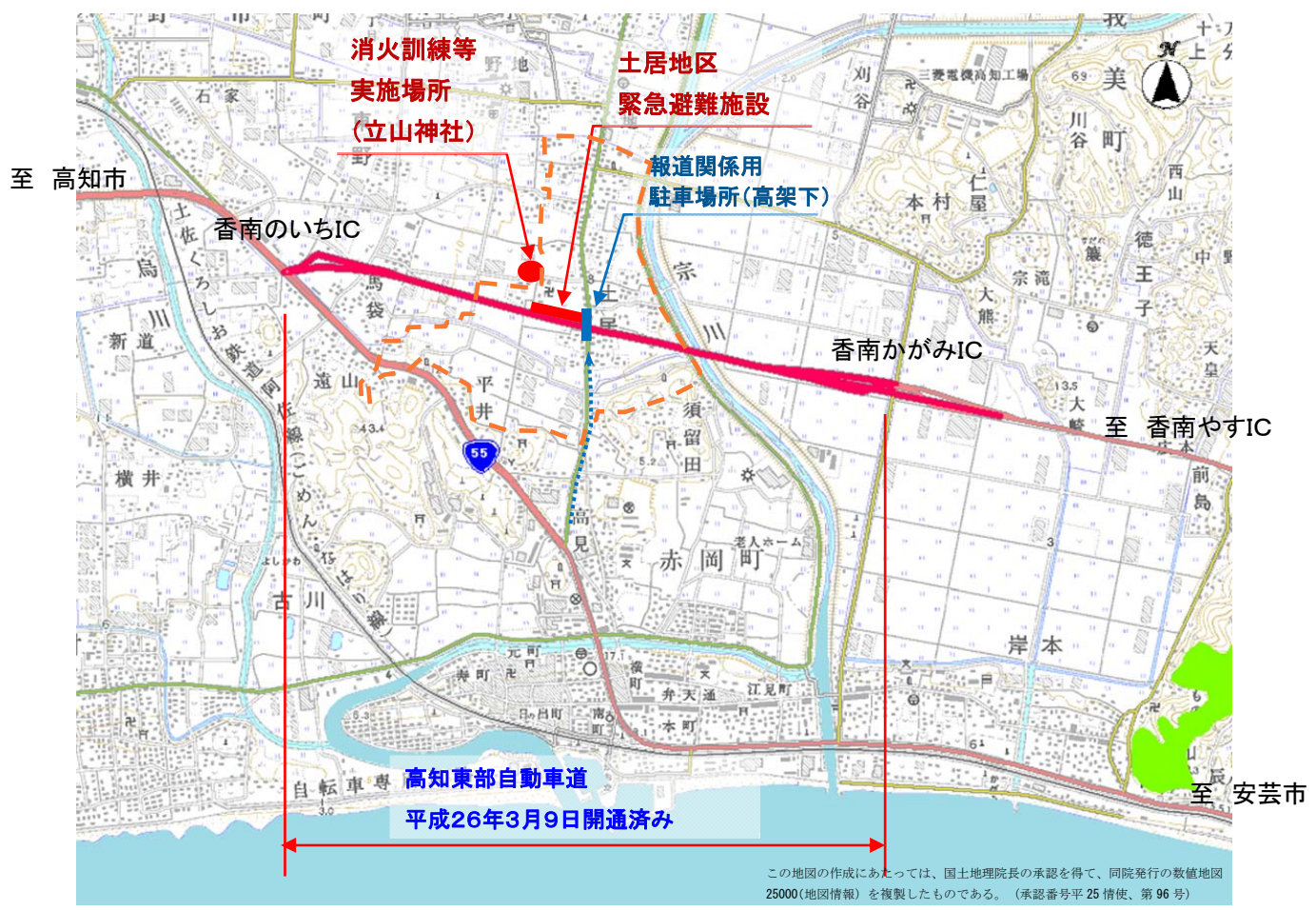
電話 0887-57-8501

■ 避難訓練について

- 日時: 平成26年10月26日(日)9時~10時(緊急避難施設を使用)
※訓練全体は8時55分~11時30分まで。
- 場所: 香南市野市町土居 1064-17 地先(土居地区の緊急避難施設)
- 出席者: 香南市野市町 土居地区の住民の方々(最大200人程度)
- 内容: 地元住民の方々に、自宅から緊急避難施設の一時避難スペースまで実際に避難していただく訓練を行う。その際、緊急避難施設入り口の蹴破り戸を実際に蹴破る練習を行っていただく。
その後、10時より近くの立山神社へ移動し、消火訓練等を行う。

■ 避難訓練の現地案内図

※報道関係の方で車にてお越しの場合は、下図の場所(高架下)に駐車できます。



この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図情報)を複製したものである。(承認番号平25情使、第96号)

□: 土居地区

土居地区緊急避難施設の概要

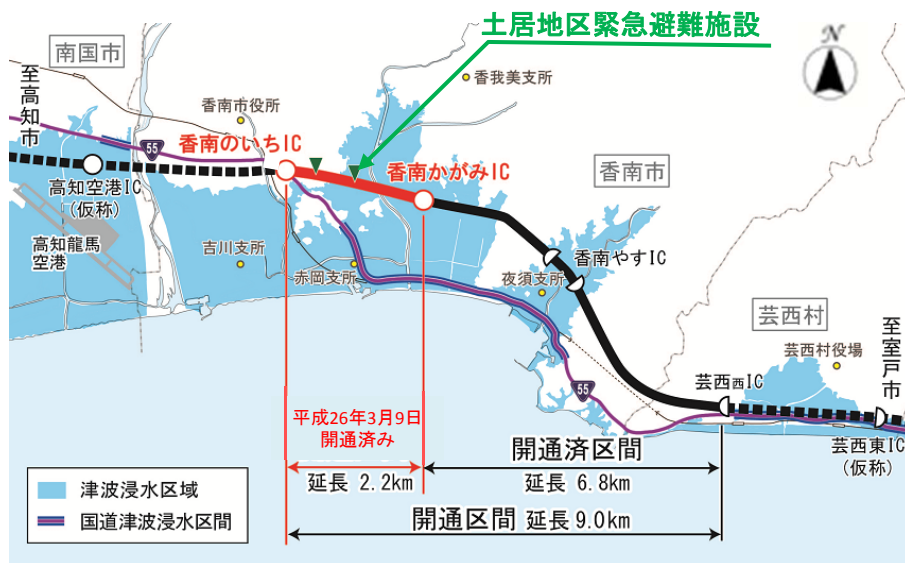
高知東部自動車道
(香南のいちIC～香南やすIC)

別紙-2

高知東部自動車道の整備にあわせて設置した、津波浸水の際に周辺住民が避難できる施設です。

・避難路の入口部の門扉は通常時は施錠しますが、津波等災害発生時には蹴破って進入できる構造になっています。

●位置図



※津波浸水区域：平成24年12月10日 高知県公表「高知県版第2弾 南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」による。

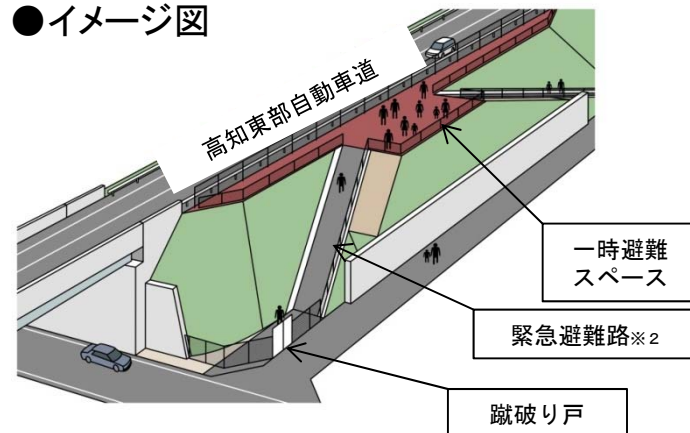
●緊急避難施設の諸元

	土居地区
緊急避難路の幅、勾配	2m、12%
緊急避難路長さ	48m、50m
一時避難スペース大きさ	幅約3m～9m 長さ約200m
一時避難スペース面積	約1400m ²
一時避難スペース標高	約13m
一時避難スペースの地盤からの高さ	約6.5m
収容人員	約700人
津波浸水想定深さ※1	約1m～2m

※1 浸水想定深さは、H24.12.10高知県公表「高知県版第2弾 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」による。

※2 緊急避難路は、一時避難スペースの両側にあります。

●イメージ図



●整備した緊急避難施設



●開通前に実施した蹴破りドアの訓練実施状況 ※訓練当日も、蹴破りドアの訓練を実施予定

